

コミュ障マスター観察日誌

一人の人

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

タイトルが全てです。ただ、いうほどコミュニケーションではないかも知れません。

目次

コミュニケーションマスター観察日誌	1
カーマ来訪	4

コミュニ障マスター観察日誌

07:00 起床

いつも7時頃には起きています。元々は朝が弱く、寝過ぎすこともあったそうだがそのたびに心配して起こしに来てくれるエミヤさんに申し訳なく思い一人で起きられるように努力したそうだ。

07:15 朝食

洗顔などの支度を終えた後、食堂に向かう。今日の献立はサンマ定食。マスターの隣は一心不乱にコクコクと頷きながら食べているアルトリアさんであり、二人の間に会話は無い。マスターは黙々と箸を進め、そのまま食べ終わると食器を棚に返し、食堂を出た。今日気づいたことだが、マスターは綺麗に食べる。米粒一つ食器に残すことはない。

08:00 マイルーム

食事から戻ったマスターはいきなり暇そうだ。今日は特にレイシフトや定期検診の予定もなくすることがないのでだろう。しばらく観察を続けていると、いきなり上着を脱ぎ、筋トレを始めた。筋トレをするのなら器具がそろっているトレーニングルームに行けば良いのに。レオニダスさんを初めとする体育会系サーヴァントたちがメニューから考えてくれるだろう。

12:00 昼食

人にはそこそこキツイと思われる筋トレメニューをこなしたあと昼食を取りに行く。マスターには珍しく少々急いでいるように見えた。その理由は今日の昼食がパンバイキングだからだろう。たぐさんのパンの中から好きなものを選ぶスタイルのメニューだが、当然一つ一つの種類には上限があり、人気のパンは奪い合いとなってしまう。

特に人気な種類の焼きそばパンでは、持ち前の俊敏さを活かして焼きそばパンに迫ったクローリンさんがスカサハさんに槍で突き飛ばされ、そのまま壁に縫い止められたこともあった。明らかに危ないのでやめた方が良くはないかと思うが、そういった苦勞をして食

べるパンは格別なのだそうだ。肝心のマスターは争奪戦に参加することもなく、比較的安全なサンドイッチゾーン（カツサンドは別）で他の人の邪魔にならないか周りを見ながら選び、また誰とも会話することなく食堂をあとにした。

12：45 地下図書館

食堂からまっすぐマイルームに向かっていたマスターだが、途中ふと思いついたように方向転換して図書館へと向かった。マスターは割と本が好きだ。図書室の管理人である紫式部さんに会釈だけして面白そうな本を探している。いくつか見繕った本を読んでいる途中、静謐な図書館に突如として怒鳴り声が響いた。

エジソンさんとテスラさんが何やら言い争っている。どうやら二人の読みたい本が被ったようだ。紫式部さんが困り顔になり、マスターは止めに入るかどうかまごついている。エジソンさんのたてがみが逆立ち、テスラさんの周りを静電気がほとぼしるようになったとき、エレナさんが一喝して二人を止めた。その後は、何事もなく、夕食の時間が近づくと、マスターはまだ読めていない本の貸し出し手続きを行い、図書館を出た。

19：00 夕食

特に変わったことなし。メニューはカツ丼。借りた本をマイルームに置いてから食堂に向かったマスターはカツ丼を受け取ると黙々と食べ、食べ終わると食器を返し、食堂を出た。

20：00 マイルーム

マイルームに戻ったマスターは借りた本を読んでいる。動きなし。

21：00 シャワー

マスターはマイルームのシャワー室で入浴をすませます。初めてシャワー室を見たときガラス張りで驚いたのだが、誰かがシャワー室に入ると光を遮断するようになる仕組みのようだ。単純な疑問なのだがなぜわざわざそんな面倒な仕様にしたのだろうか。

21：15 マイルーム

シャワーを終えたマスターはストレッチをしていた。初めてストレッチをした頃よりもかなりからだは柔らかくなったようで何より

である。ストレッチの後、マスターはベッドに潜り込み、読書を再開した。

23:00 就寝

眠くなってくるとマスターはベッド横に準備してあったテーブルの上に本を置き、電気を消すと寝た。おやすみなさいマスター。そしてここからは私の時間だ。

カーマ来訪

07:00 起床

ここから朝食を終え、マイルームに戻るまで特筆することはない。朝食のメニューはベーコンエッグだった。

08:00 マイルーム

マスターがマイルームに戻ると、そこにはカーマさんがいた。一臨の姿でベッドに座っている。カーマさんは何か言おうとしているが、マスターは部屋を間違えたと詫びると扉を閉じてしまった。マスターは部屋のネームプレートや周りの部屋を確認しては不思議そうにしている。確認するまでもなく、その部屋はマスターのマイルームであるのだが、普段マイルームに来客など滅多に来ず、しかも部屋の中で待つような物好きはこれまでいなかったので、戸惑っているのだろう。

そうこうしているうちに、カーマさんがしびれを切らし自分から扉を開けた。カーマさんの姿を見るなり扉を閉めたことを、お得意の皮肉でなじった後、来訪の理由を告げた。なんでも、ずっと一人でいるマスターがかわいそうで、仕方が無いので愛の神である私が愛してあげようと思ったとのこと。あくまで、マスターのためを思っていることであるそうなので、この前、一臨の姿でナーサリーさんやジャックさんたちカルデア子供組が楽しそうに遊んでいたのを一人で見ていたり、二臨の姿で鈴鹿御前さんと清少納言さんのJK談義に一人で聞き耳を立てていたり、三臨の姿でパールヴァティーさんがジナコさんに料理を教えながら、カルデアキッチンの皆と楽しそうに試作料理を作っていたのを横目に見ながら試作作品を一人で食べていたのはきつと関係ないはずだ。

さて、カーマさんがマスターに何かしてほしいことはないかと聞くが、マスターは何もないと即答した。カーマさんは絶句した後、何かあるはずだと催促するが、マスターはどこ吹く風といった様子である。しかし、ここでマスターが今日は微妙特異点を解決する予定があるのでそろそろ行っても良いかと聞くと、カーマさんはどことなくう

れしような様子で仕方が無いのでそれについて行ってあげても良いと言うが、今日はアガルタでラミア系と戦うことになるだろうからカーマだと不利だとマスターに言われ、ついにカーマさんは涙目になった。マスターは無表情にも見えるが、あれは大分パニックに陥っている顔だ。

8：40 中央管制室

とりあえず、時間が押しているのでカーマさんとマスターはダヴィンチさんの待つ、中央管制室へと向かった。マスターが誰かと一緒に来たことにダヴィンチさんとすでに中央管制室に到着していたマシユさんはとてつもなく驚いていたが、マスターから事情を聞き、それなら今日はオルレアンの微少特異点を解決しに行こうということに決まった。本来レイシフトは6名まで可能だが、それほど脅威となる敵が出るわけではないのと、一応強力なアサシンであるカーマさんが同行するということで、小次郎さん、マタハリさん、カーマさんの3名でのレイシフトとなった。この間、カーマさんは泣くのを我慢している子供のようにプルプルと震えていたが、中央管制室の冷房が寒かったのだろうか？

9：30 レイシフト開始

諸々の準備を済ませ、オルレアンへとレイシフトした。今回の目的は、異常に成長したワイバーンを討伐することらしい。なんでも、聖杯の魔力の残り香がワイバーンに付着した結果で、ほっといてもそのうち元に戻るが、素材集めがてら一応解決しておいた方が良いとのこと。その巨大ワイバーンに向かう途中、何体か通常のワイバーンに出くわしたが小次郎さんが鱗をそぎ、マタハリさんが動きを止め、カーマさんがとどめを刺すといった具合に危なげなく対処した。カーマさんが活躍するたびにマスターに向けるドヤ顔がなんとも腹が立つ。そしてその勢いのまま、巨大ワイバーンも宝具三連発であつさり倒した。このレイシフトの結果、龍の牙を4つ獲得できたのでマスターとしても上々といったところだろう。

13：00 レイシフト終了

無事、レイシフトを終了してカルデアに戻ってくる。恒例の簡易メ

デイカルチエックでも異常なし。いい時間なので、マスターは素材を
ダヴィンチさんに預けた後、昼食を取りに行くことにしたようだ。
カーマさんもそれについて行くようだ。マシユさんは、それを見て放
心している。

13:10 昼食

今日の昼食メニューは月見うどん。物足りない人のためにサイド
メニューで天ぷらやおにぎりを選べる。マスターはエビ天と野菜天
を追加した。カーマさんは何も追加していない。マスターが料理を
受け取りに行く際、カーマさんと2人で来たことにエミヤさんが驚い
ていた。マスターはいつも通り黙々と食べ、早々と完食したが、カー
マさんは猫舌なように食べるのに手間取っている。カーマさんが食
べ終わるまで待つようにいったので、マスターは水を飲みながらじつ
とカーマさんのことを見ていた。

14:30 エルメロイ教室 with マーリン

昼食の後、マスターたちは会議室へと向かう。カーマさんはてつき
りこのあとはマイルームに戻ってゴロゴロすると思っていたようだ
が、今日はエルメロイ教室の予定だ。これは元々、マスターに対して
キャスターのクーフリーンさんや黒髭さんやキャスターのジルさん
がそれぞれの得意分野について好き勝手に教えていたが、その煩雑さ
と非効率さに嫌気がさしたエルメロイ二世さんが英霊を扱うマス
ターとして必要な知識を身につけられるようにカリキュラムを組ん
だものである。その結果、マスターだけでなくアレキサンダーさんを
初めとした、興味を持つ人が参加するようになったので発案者である
エルメロイ二世さんの名を冠したエルメロイ教室というものができ
あがった。

カーマさんが食べるのに苦労していたので、もしかすると遅れてし
まうのではないかと思ったが、無事時間までに到着する。エルメロイ
二世さんが開講の合図をした。今日の内容は「夢」についてである。
参加者はマスター以外には常連のアレキサンダーさんと小ギルさん、
ケイローンさん、内容につられてか巖窟王さんとナイチンゲールさん
(おそらくナイチンゲールさんが求めるものとは違う気がするが)、そ

して講師がエルメロイⅡ世さんのときによく来るイスカンドルさんがいた。イスカンドルさんがいるためか若干やりにくそうだが、粛々と授業が進んでいく。ただ、マスターにとってはレベルが高いようについて行くのに精一杯というような顔だ。これは、追加の課題がでることは確定だろう。カーマさんは開始3分で脱落して夢の中だ。：サーヴァントは睡眠をとる必要は無いはずだが。昨晚一睡もとっていないのが原因だろうか？なぜかカーマさんは昨晚ずっと何か考え事をしていた。

途中休憩を取りながら3時間続けて「夢」について理論を学んでいく。一通り説明し終わりエルメロイⅡ世さんがマスターに課題を出した後、マーリンさんが来た。ここからはマーリンさんが実際に魔術を使用し、「夢」を操ってみせるという。誰の「夢」を操るのかと思つたがエルメロイⅡ世さんがそこにちょうど良いサンプルがあると未だに寝ているカーマさんを指さした。カーマさんはとても幸せそうな寝顔なのでいい夢を見ているのだろう。だが、マーリンさんが魔術を使用すると途端にうなされた。エルメロイⅡ世さんがこうならないようにしっかりと対抗術式を学ぶようにと発破をかけ、マスターたちは対抗術式を組むことを始める。結果マスターは満足のいく術式を組めたとは言えないが、エルメロイⅡ世さんに「夢」に干渉する魔術を感じられるようになっただけでも意味がある、それはそれとして課題をしつかりしておくようにと言われ、巖窟王さんに俺が守るから大丈夫だ（意識）というように励まされていた。まあ、巖窟王さんの方はマスターに伝わっていたか疑問だが。カーマさんはまだ寝ていて、マーリンさんにおもちゃにされていた。

19:00 夕食

さすがにマスターはカーマさんを起こし、夕食に向かう。カーマさんはひどい顔で、あれだけ寝ていたのにむしろ疲れているようだ。パールヴァデーとシヴァのイチヤコラを目の前でずっと見させられる拷問を受ける夢を見たと言っていた。今日の夕食は満漢全席。なぜかイシユタルさんが主導で夕食を作ることになり、凝りすぎた結果こうなったそうだ。各人が好きな料理を好きなだけ取るバイキン

グ形式である。マスターはいつも通り無言で完食し、カーマさんはいつも通り悪態をつきながら完食する。さつきまで落ち込んでいたのになぜかカーマさんはちよつとうれしそうである。

夕食後、カーマさんは疲れたのでもう休むといいマスターと離れることになった。カーマさん最後にやっぱりあなたはつまらない人ですねぇ、なぜいつも一人でいるのか今日一日一緒にいてわかりましたよ。あなたと一緒にいようと思う人はそうそういないでしょうから私の気が向いたら一緒にいてあげますよと捨て台詞を吐いて去って行った。

20：15 地下図書館

マスターはエルメロイⅡ世さんに言われた課題の参考書となる本を借りた。

20：40 マイルーム

マスターはシャワーを浴びた後、課題に取り組む。切りの良いところまで進めた後、読書を始めた

23：00 就寝

マスターはベッド横のテーブルに読んでいる本を置き、電気を消すと寝た。おやすみなさいマスター。今日は眉毛の本数でも数えようか。